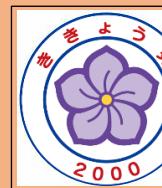


# ききょう苑通信



2023年10月

第30号



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設  
「ききょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)  
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237  
TEL: (0463) 92-8101 E-mail: kikyo-en@showakai.or.jp



## ききょう苑に、和太鼓が響く！！

～神奈川県立中央農業高等学校・和太鼓部～



2023年9月30日、ききょう苑に、勇壮、そして躍動感に満ちた、和太鼓が鳴り響きました。

神奈川県立中央農業高等学校の和太鼓部、高校生14名、顧問の先生2名が、ききょう苑に来て、和太鼓の演奏をしてくださいました。

お昼過ぎ、高校生の皆さんが、いくつもの太鼓を運んで、到着された時には、皆さんおとなしそうで、礼儀正しい姿は、初々しささえ感じました。ところが演奏が始まると、その和太鼓の第一打とともに、雰囲気は激変し、その躍动感、力強い演奏は、ただただ、圧倒されるばかりでした。

ここ数年、コロナ禍での生

活の制限で、気持ちもすさみがち、ついつい下を向きがち

だつたご利用者、そして職員の顔は、みるみるうちに、

その演奏に引き込まれ、笑顔と手拍子が沸いていました。

神奈川県立中央農業高等学校、和太鼓部の皆さんに、

感謝、感謝です。たくさんの元気をいただきました。

願わくは、これからも、ぜひ、ききょう苑で、あの和太鼓を響かせていただきたいと感じました。

最後になりますが、今回の和太鼓演奏会を披露してくれた部員の高校生の皆さん、そして、顧問の先生、学校関係者の方々に深く感謝いたしました。それにも「若さって、本当に素晴らしい！」と実感しました。

(入所事業部門 介護部主任 岡部 大祐、

同介護士 高畠 紀江)



## 栄養管理は、リハビリに貢献!!

リハビリテーションにとって栄養、そして、その管理は重要です。栄養状態が悪い身体で運動を行うと、不足したエネルギーを作り出すために筋肉が分解され、逆に筋肉量が減少してしまいます。リハビリの効果を十分に發揮するためにも、栄養状態を適切に把握することは大切です。

ききょう苑では、リハビリテーションにおける栄養管理に注目し、2022年4月から、ご利用者ごとに、管理栄養士を中心に行なうと、不足したエネルギーを作り出すために筋肉が分解され、逆に筋肉量が減少してしまいます。リハビリの効果を十分に發揮するようになると取り組んでいます(図1)。

ご利用者に対して、栄養に関しての総合評価を行い、それをお話しすることで、より一層のリハビリテーションの効果を上げるとともに、ご家族にもご協力していただけるようにしていきます。

ご利用者に対するデータは、大きく改善してきました。

ちなみに、通所リハビリテーションでは、この取り組みを始めた2022年1月と比較して、2023年4月の、ご利用者の栄養に関するデータは、大きく改善してきました。

すなわち、当初と比べて、やせ形態タイプのご利用者は減少し、また、低栄養になる可能性があるご利用者の割合は、そのリスクが高い、あるいは中等度のリスクがあるご利用者は減少し、7割近くのご利用者で、低栄養になるリスクが低いと評価されました(図2, 3)。

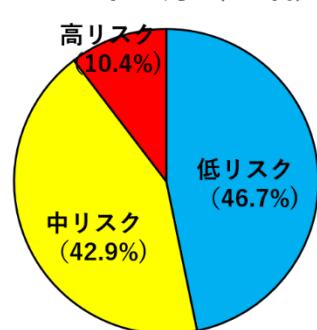
(栄養部主任・管理栄養士 木我 みな美、  
通所リハビリテーション部主任 白倉 佐知)

図1：当苑ご利用者の栄養アセスメント

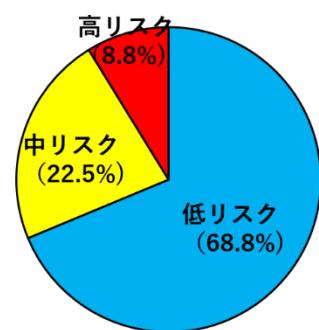


図3：低栄養のリスク

2022年1月 (77名)



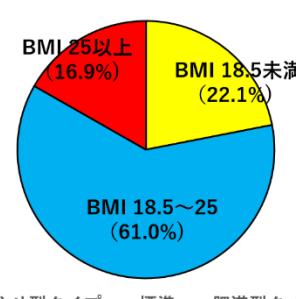
2023年4月 (80名)



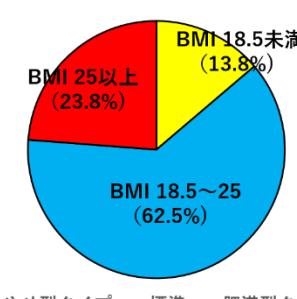
■リスクが低い ■リスクが中等度 ■リスクは高い ■リスクが低い ■リスクは中等度 ■リスクが高い

図2：体格のタイプ (BMI)

2022年1月 (77名)



2023年4月 (80名)



※BMI(body mass index)：身長と体重から、肥満の程度を計算します。  
「体重(kg)/身長(m)の二乗」」BMIが、18.5～25.0が、適正な体型といわれています。  
数値が高いほど、肥満度が上がります。

